

令和6年度学校評価アンケート調査結果について

1 調査期間及び対象

(1) 調査期間

令和6年11月1日（金）～令和6年12月13日（金）

※11月15日（金）までの計画でしたが、回収率を上げるため延長しました。

(2) 対象及び回収率

①教職員 97名：回答者 97名（回収率 100 %）

②保護者 154名：回答者 128名（回収率 83.1%）

③生徒

中学部 35名：回答者 35名（回収率 100 %）

高等部 47名：回答者 47名（回収率 100 %）※うち、回答が難しかった生徒12名

(3) アンケート集計結果 2を参照

2 調査結果から

(1) 教職員の自己評価

ア 概要

項目	質問内容	令和6年度			令和5年度		
		肯定的評価	否定的評価	その他	肯定的評価	否定的評価	その他
Q1	私たちは、児童生徒一人一人に適切な指導・支援を行っていますか。	97.9%	2.1%	0%	100%	0%	0%
Q2	私たちは、教育目標の達成に向け、全員が協力して教育活動を行っていますか。	97.9%	2.1%	0%	97.7%	2.3%	0%
Q3	私たちは、児童生徒の成長に応じた教育内容と指導を行っていますか。	99.0%	1.0%	0%	97.7%	2.3%	0%
Q4	私たちは、学習会や配付物等を通じて児童生徒の将来に必要な情報を提供し、進路に関する相談に応じていますか。	95.9%	4.1%	0%	96.6%	3.4%	0%
Q5	私たちは、自立と社会参加・共生を見ずえて進路指導に取り組んでいますか。	94.8%	5.2%	0%	96.6%	3.4%	0%
Q6	私たちは、基本的な生活習慣や挨拶などのマナー、生活の技能を身に付ける学習を家庭と協力して行っていますか。	96.9%	3.1%	0%	98.9%	1.1%	0%
Q7	私たちは、自然災害、火災や事故等に対応した安全指導を適切に行っていますか。	99.0%	1.0%	0%	100%	0%	0%
Q8	私たちは、校舎内外において、安全に配慮した教育活動を行っていますか。	99.0%	1.0%	0%	100%	0%	0%
Q9	私たちは、保護者と連携しながら、児童生徒の健康増進・疾病予防に努めていますか。	96.9%	3.1%	0%	98.9%	1.1%	0%
Q10	私たちは、食育に関心を持ち、学校給食を活用した継続的な取組を推進していますか。	99.0%	1.0%	0%	98.9%	1.1%	0%
Q11	私たちは、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいますか。	99.0%	1.0%	0%	97.7%	2.3%	0%
Q12	私たちは、連絡帳・学部通信・学級通信等の、学習における記録を通じて家庭との連携や共通理解を図っていますか。	100%	0%	0%	100%	0%	0%
Q13	私たちは、校報・ホームページ等を利用し地域に発信する取り組みを行っていますか。	97.9%	2.1%	0%	96.6%	3.4%	0%
Q14	私たちは、PTA活動の充実、活性化に取り組んでいますか。	94.8%	5.2%	0%	87.5%	12.5%	0%
Q15	私たちは、教育環境の整備に努めていますか。	97.9%	2.1%	0%	93.2%	6.8%	0%
Q16	私たちは、学校予算の適切かつ効果的な運用に努めていますか。	97.9%	2.1%	0%	96.6%	3.4%	0%
Q17	あなたは、本校が働きがいのある職場だと思いますか。	91.8%	8.2%	0%	95.5%	4.5%	0%

※「その他」：「わからない」と「無回答」を合わせた集計結果

※ **網掛け** は、積極肯定「大いにそう思う」と回答した結果が30%未満の項目

・質問項目は全部で17項目です。

・自己評価の集計結果を「大いにそう思う」と「そう思う」を合わせて肯定的評価とし、「全く思わない」と「あまり思わない」を否定的評価としました。

- ・今年度は、17 項目中 14 項目で肯定的評価が 95%以上となっています。
- ・Q 3、Q15 の 2 項目は、積極肯定が 30%未満となっています。

イ 分析と考察

- ・肯定的評価が 95%を超えた項目は 17 項目中 14 項目で、引き続き高い水準を維持しました。
- ・積極肯定「大いにそう思う」と回答した結果が 30%以上の項目が、昨年度の 10 項目から 15 項目と大幅に増加しています。このことは、多くの教職員が日々の教育活動に自信をもって取り組んでいることを伺わせませす。
- ・昨年度と比較し大幅に上回ったのは、Q14 と Q15 の 2 項目です。昨年度比として Q14 は+7.3 ポイント、Q15 は+4.7 ポイントとなっています。Q14 については、PTA 活動が、保護者主体の取り組みに改善されたことで、保護者の意見が反映やすくなり活動が活性化されたことが大きな要因だと思われます。また、Q15 については、児童生徒の増加による校舎の狭隘化が深刻な状況にあっても、教室やトイレの改修工事、授業内容の工夫、防災防犯対策の強化等、児童生徒の安全で快適な学習環境を守るための工夫と対策を計画的に進めていることが評価につながったと思われます。
- ・Q 3、Q15 で 30%未満となったのは、努力はしているものの、教育環境が十分に整っているわけではないので「大いにそう思う」とまでは回答できなかったのではないかとと思われます。
- ・学部間で回答が異なっていたのは Q 4、Q 5、Q 9、Q14、Q17 の 5 項目です。Q 4、Q 5 は進路指導に関する項目、Q 4 は他学部と比較して小学部が低くなっており、Q 5 は高等部だけが高くなっています。Q 9 は児童生徒の健康増進、疾病予防についての項目で高等部だけが低くなっています。これは、質問内容の Q 4「児童生徒の将来に必要な」や Q 5「自立と社会参加・共生を見すえて」、Q 9「保護者と連携して」という言葉から推測されるように、担当している児童生徒の発達段階が影響しているのではないかとと思われます。Q14 は PTA 活動の充実に関する項目であり、中学部が高くなっています。これは、他学部に比べ PTA 活動についての話題が多く、活動が見えやすい環境にあることが一因ではないかとと思われます。Q17 は「働きがい」を問う項目です。肯定的評価は 91.8%、低くはありませんが、17 項目の中では最も低くなっており、昨年度と比べても下がっています。時短や負担軽減中心の働き方改革とともに「働きがい」という視点ももっと大切にする必要があると思われます。教職員のウェルビーイングを実現するためにアセスメントをしっかりと行っていききたいと思われます。

(2) 保護者アンケートについて

ア 概要

項目	質問内容	令和 6 年度			令和 5 年度		
		肯定的評価	否定的評価	その他	肯定的評価	否定的評価	その他
Q 1	学校は、児童生徒一人一人に適切な指導・支援を行っていますか。	97.6%	1.6%	0.8%	95.0%	3.3%	1.7%
Q 2	学校は、教育目標の達成に向け、全員が協力して教育活動を行っていますか。	93.7%	2.4%	3.9%	88.3%	8.3%	3.3%
Q 3	学校は、児童生徒の成長に応じた教育内容と指導を行っていますか。	95.3%	3.1%	1.6%	92.5%	5.8%	1.7%
Q 4	学校は、学習会や配付物等を通じて児童生徒の将来に必要な情報を提供し、進路に関する相談に応じていますか。	96.1%	3.1%	0.8%	95.0%	3.3%	1.7%
Q 5	学校は、自立と社会参加・共生を見すえて進路指導に取り組んでいますか。	92.2%	3.1%	4.7%	91.7%	4.2%	4.2%
Q 6	学校は、基本的な生活習慣や挨拶などのマナー、生活の技能を身に付ける学習を家庭と協力して行っていますか。	96.9%	2.3%	0.8%	92.5%	5.0%	2.5%
Q 7	学校は、自然災害、火災や事故等に対応した安全指導を適切に行っていますか。	94.6%	2.3%	3.1%	94.2%	1.7%	4.2%
Q 8	学校は、校舎内外において、安全に配慮した教育活動を行っていますか。	93.0%	2.3%	4.7%	90.0%	3.3%	6.7%
Q 9	学校は、保護者と連携しながら、児童生徒の健康増進・疾病予防に努めていますか。	93.8%	3.1%	3.1%	93.3%	5.0%	1.7%
Q10	学校は、心身の成長や望ましい食習慣の形成に向け、食育の取組	90.6%	6.3%	3.1%	90.8%	2.5%	6.7%

	や給食指導を行っていますか。						
Q11	学校は、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいますか。	75.0%	4.7%	20.3%	76.7%	2.5%	20.8%
Q12	学校は、連絡帳・学部通信・学級通信等の、学習における記録を通じて家庭との連携や共通理解を図っていますか。	97.6%	2.4%	0.0%	99.2%	0.8%	0%
Q13	学校は、校報・ホームページ等を利用し地域に発信する取り組みを行っていますか。	92.2%	3.9%	3.9%	77.5%	5.8%	16.7%
Q14	学校は、PTA活動の充実、活性化に取り組んでいますか。	94.5%	3.9%	1.6%	79.2%	12.5%	8.3%
Q15	学校は、教育環境の整備に努めていますか。	85.1%	9.4%	5.5%	74.2%	17.5%	8.3%
Q16	お子様を本校に入学させたことに満足していますか。	97.6%	1.6%	0.8%	93.3%	4.2%	2.5%

※「その他」:「わからない」と「無回答」を合わせた集計結果

※ **網掛け** は、積極肯定「大いにそう思う」と回答した結果が 30%未満の項目

<自由記述から(要約・抜粋)>

本校の教育活動に対するご理解やご協力に関する記述を多数いただきました。今回は、改善要望としていただいた事項のみ挙げさせていただきます。

<改善要望事項>

- ・年間行事予定に関する事 : 個別面談期間の給食実施希望 2
- ・学習活動に関する事 : 学校行事の保護者見学希望 2、運動会の実施希望 1、ICT 機器の活用 1
- ・生徒指導に関する事 : 私物の管理の徹底 1、ルールやきまりの適正化 1
- ・進路指導に関する事 : 進路指導の改善 1、進路についての学習会の継続 1
- ・施設設備に関する事 : プールや校庭の整備と改善提案 2
- ・送迎に関する事 : 通学バスの増便等 1、冬期間の通学路の整備 1
- ・管理監督に関する事 : 根拠に基づいた説明 1、ネームの色分け 1
- ・学校の対応全般に関する事 : 欠席連絡や学校行事等における ICT 活用 1、啓発活動の活性化 1

- ・保護者用のアンケート質問項目は全部で 16 項目です。
- ・自己評価の集計結果を「大いにそう思う」と「そう思う」を合わせて肯定的評価とし、「全く思わない」と「あまり思わない」を否定的評価としました。
- ・肯定的評価が 80%未満の項目は、Q11 の 1 項目のみでした (昨年度は 4 項目)。
- ・肯定的評価が 90%以上の項目は、Q 1～Q10、Q12～Q14、Q16 の 14 項目でした (昨年度は 11 項目)。
- ・昨年度から肯定的評価が 5%以上増加した項目は、Q 2、Q13～Q15 の 4 項目、その中で Q 2 以外の 3 項目は 10%以上の増加となりました。一方で、肯定的評価が%以上減少した項目はありませんでした。

イ 分析及び考察

- ・昨年度と比較して、全体的に肯定的評価が大きく増加しました。増加したアンケート項目 (ポイント) は、以下のとおりです。
Q 1 (+2.6)、Q 2 (+5.4)、Q 3 (+2.8)、Q 4 (+1.1)、Q 5 (+0.5)、Q 6 (+4.4)、Q 7 (+0.4)、Q 8 (+3.0)、Q 9 (+0.5)、Q13 (+14.7)、Q14 (+15.3)、Q15 (+10.9)、Q16 (+4.3)
- ・10 ポイント以上増加したのは、Q13、Q14、Q15 の 3 項目でした。Q13 は、校報・ホームページ等を利用した地域に発信する取り組みについての質問です。昨年度に引き続き記事をホームページにアップロードする際、一斉メールを利用して保護者に連絡したこと、更新回数とともに掲載内容も充実してきたことが要因であると思われます。Q14 は PTA 活動についての項目です。教職員の結果同様、PTA 活動が保護者主体の取り組みに改善されたことで、PTA 研修会の開催等の要望が実現され、PTA 活動が活性化したことが要因だと思われます。Q15 は教育環境の整備についてです。教室やトイレの改修工事、授業内容の工夫、防災防犯対策の強化等、狭隘化が深刻な状況にある中でも、児童生徒の安全で快適な学習環境を守るための工夫と対策を推進していることが評価につながったと思われます。
- ・昨年度と比較し、肯定的評価が減少したアンケート項目は、Q10 (-0.2)、Q11 (-1.7)、Q12 (-1.6) の 3 項目です。その中でも Q11 は 75%と低さが際立っています。Q11 はいじめについての項目であり、教職員の肯定的評価が 99%になったことが示しているように、今年度最も強化した取り組みの一つです。こ

の状況を改善する糸口は「分からない」を選択した保護者が 20.3%になっていることにあると思われます。学校の取り組みが見えるようになれば評価も変わってくると思われます。校内では、全教職員がいじめについての認識を共有し、法に基づいて対応できるようになってきているので、今後は保護者の意識啓発を図り、学校と家庭が協力して児童生徒のよりよい人間関係づくりを進めていければと考えています。

- ・学部別の肯定的評価の割合を見てみると、同じような回答傾向がある中で、学部間で回答が異なっていたのは、Q11 以外では、Q2, Q10, Q15 です。今後の教育活動に生かしていくためにも、アセスメントをしっかりと行っていききたいと思います。
- ・教職員と保護者の肯定的回答の割合の比較は次のとおりです。(職員アンケートのQ16 及びQ17 と、保護者アンケートのQ16 は非該当)。

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15
R6 職員 (%)	97.9	97.9	99.9	95.9	94.8	96.9	99.0	99.0	96.9	99.0	99.0	100	97.9	94.8	97.9
R6 保護者 (%)	97.6	93.7	95.3	96.1	92.2	96.9	94.6	93.0	93.8	90.6	75.0	97.6	92.2	94.5	85.1
差 (職員-保護者)	+0.3	+4.2	+4.6	-0.2	+2.6	0	+4.4	+6.0	+3.1	+8.1	+24.0	+2.4	+5.7	+0.3	+12.8

- ・職員と保護者との肯定的回答割合の違いは、Q11, Q15 で特に大きくなっています。Q11 は、前述したとおりです。Q15 については、教職員も保護者も評価は上がっていますが、教職員と保護者の認識にはまだ隔たりがあることが分かります。校舎の狭隘化は大きな課題ですが、児童生徒の安心安全な生活の基礎となる部分です。引き続き緊張感とスピード感をもって対応する必要があると思われます。
- ・上記の分析から、昨年度と比較しても全体的に大きくポイントが増加しており、保護者は全体的に本校の取り組みに理解を示していることが分かります。今回浮き上がったQ11「いじめ」への対応、Q15「教育環境の整備」については、今後も重点的に取り組む必要があると思われます。
- ・この結果は、日々の対応の積み重ねの成果によるところが大きいと思われます。引き続き、日常の児童生徒の表情や言動を大切にしながら、保護者との信頼関係を築き、協力して児童生徒の育成を図っていきたいと考えます。

(3) 生徒アンケート結果

ア 概要

項目	質問内容	中学部			高等部		
		肯定的評価 (「はい」)	否定的評価 (「いいえ」)	わからない・無回答	肯定的評価 (「はい」)	否定的評価 (「いいえ」)	わからない・無回答
Q1	学校は楽しいですか。	88.5%	2.9%	8.6%	85.7%	8.6%	5.7%
Q2	学校の行事は楽しいですか。	91.4%	0.0%	8.6%	88.5%	8.6%	2.9%
Q3	学校にはやりたい勉強や活動がありますか。	88.6%	5.7%	5.7%	94.3%	5.7%	0.0%
Q4	友だちと仲よく勉強していますか。	88.5%	2.9%	8.6%	82.8%	8.6%	8.6%
Q5	先生の話はわかりますか。	82.8%	0.0%	17.2%	100.0%	0.0%	0.0%
Q6	先生はあなたの話や意見をよく聞いてくれますか。	88.6%	0.0%	11.4%	94.2%	2.9%	2.9%
Q7	先生はあなたが頑張ったことを認めてくれますか。	88.6%	0.0%	11.4%	100.0%	0.0%	0.0%
Q8	給食を楽しみ、食べ物を大切にしていますか。	85.7%	0.0%	14.3%	100.0%	0.0%	0.0%
Q9	地震や火事のときはどうしたらいいかわかりますか。	74.3%	0.0%	25.7%	85.7%	5.7%	8.6%

- ・中学部と高等部に同じ内容のアンケート調査を実施しました。質問項目は9項目でした。
- ・「はい」という回答を肯定的評価、「いいえ」を否定的評価としました。
- ・中学部では、肯定的評価が80%未満の項目はQ9の1項目でした。高等部は全ての項目で80%を超えました。
- ・「わからない・無回答」の回答で、中学部で一番多かったのは、Q9で25.7%でした。高等部で一番多かったのは、Q2, Q3, Q9でともに10.8%でした。

- ・ 中学部において、今年度と昨年度の肯定的回答の割合を比較してみると、次のようになります。

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
R6(%)	88.5	91.4	88.6	88.5	82.8	88.6	88.6	85.7	74.3
R5(%)	87.5	95.0	92.5	92.5	90.0	92.5	90.0	95.0	82.5
差(R6-R5)	+1.0	-3.6	-3.9	-4.0	-7.2	-3.9	-1.4	-9.3	-8.2

中学部は、昨年度と比較すると評価が下がっています。特にQ5、Q8、Q9は5.0%以上減少しています。

- ・ 高等部において、今年度と昨年度の肯定的回答の割合を比較してみると、次のようになります。

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
R6(%)	85.7	88.5	94.3	82.8	100.0	94.2	100.0	100.0	85.7
R5(%)	89.2	86.5	86.5	91.9	91.9	89.2	94.6	91.9	78.4
差(R6-R5)	-3.5	+2.0	+7.8	-9.1	+8.1	+5.0	+5.4	+8.1	+7.3

高等部は、全体的に評価が上がっており、9項目のうち6項目が昨年度+5.0%以上となりました。その中でもQ5、Q8は+8.1%となっています。一方、減少した項目はQ1が-3.5%、Q4が-9.1%となっています。

イ 分析及び考察

- ・ 中学部は、データを分析する際、「わからない・無回答」の割合を考慮する必要があります。その上で中学部は、昨年度と比較すると全体的に評価が下がっています。特にQ5「先生の話はわかりますか」、Q8「給食を楽しみ、食べ物を大切にしていますか」、Q9「地震や火事の際はこうしたらいいかわかりますか」は昨年度と比較して5.0%以上減少しています。アセスメントをしっかりと行った上で、教育活動の改善に生かしていきます。
- ・ 高等部は、全体的に評価が上がっており、9項目のうち6項目が昨年度+5.0%以上となりました。その中でもQ5「先生の話はわかりますか」とQ8「給食を楽しみ、食べ物を大切にしていますか」は+8.1%、この項目は学校生活を支える項目であり、多くの生徒が実感をもって学校生活を送ることができていることが分かります。一方、減少した項目はQ1「学校は楽しいですか」とQ4「友だちと仲よく勉強していますか」の2項目。学校生活や友だちとの関係について悩んだ生徒も複数おり、それが結果に表れたと推測することができます。
- ・ データと実態を考え合わせると、中学部と高等部で「回答が難しい」という判断基準が違っていたのではないかと予想されます。このことが、結果に影響したと思われますし、言葉での回答が難しい生徒の評価をどうしていくかが今後の課題です。

(4) まとめ

- ・ 今年度における本校の教育活動で改善の必要がある項目や方向性について確認することができました。来年度の学校運営に反映させていきたいと思えます。
- ・ 保護者アンケートでは、肯定的回答が大きく増加し、否定的回答やその他（分からない、無回答）が減少しています。学校教育に対して保護者の皆様から高い評価をいただいたことと認識しています。
- ・ 今回浮き彫りになったいじめへの対応や教育環境の整備については、保護者の皆様から理解が得られるよう取り組みを強化する必要があると考えます。いじめへの対応については、まず学校の取り組みを見える化し、「わからない」という回答を減らすことから始めたいと思えます。教育環境の課題については、引き続き県教育委員会との連携を図り、ソフト面とハード面、両方の充実を目指していきたいと思えます。
- ・ この学校評価の実施内容や方法についても課題が明確になりました。保護者の回収率を高めるための方法や言葉での回答が難しい生徒の評価のあり方については今後検討を重ね、より多くの生徒や保護者の皆様の意見が反映されるようにしていきたいと思えます。

最後に、お忙しい中この学校評価アンケートにご協力いただき、学校運営の改善に向けたご意見やアイデア等を提供して下さった皆様に感謝しています。今後とも、なお一層のご理解とご協力をよろしくお願い致します。